

## 第 36 回横浜マリンボールカップ男子 B ゾーン決勝 7 月 26 日(日)

横浜山手中華学校ミニバスケットボールクラブ 39 VS 46 八千代ミニバスケットボールスポーツ少年団

### 1Q

両者マンツーマンでスタート。高さの山手中華に対し、八千代はプレッシャーディフェンスでターンオーバーをねらう。また、八千代はドライブで積極的に攻め込み#11、#12 の 5 年生コンビが立て続けに得点し試合が動き出す。

山手中華は、ゴール下に切れ込んだ#12 がパスを受け得点。また、#4、#9 もドライブでファウルを誘いフリースローで加点。八千代#7 も 5 年生ながらボールマンにプレッシャーかけスチール、ボール運びに貢献。#6 もゴールに切れ込み連続得点。残り 37 秒には八千代#4 がフリースロー 2 本決める。16 対 10 と山手中華リードで 1Q 終了。

### 2Q

両者ともオールコートマンツーマン。八千代#5 はボールマンプレッシャーで山手中華のボール運びを苦しめる。八千代#8 のシュートが決まり、続いて#5 はドライブでファウルを誘い連続でフリースロー、各 1 本ずつ決める。#9 がジャンプシュート、#13 がゴール下シュートをきっちり決め着実に加点していく。

山手中華は高さを活かしゴール下へのカッティングプレーで#5、#6 がシュートを決める。2Q はディフェンスで粘りを見せ、果敢に攻め続けた八千代が逆転し 25 対 26 で終了。

### 3Q

山手中華は#4,8,11,12,15 八千代は#4,5,6,7,13 のメンバーで 3Q 開始。

1 点差リードの八千代は#7、#4 と連続してシュートを決め更にリードを広げる。

八千代ペースになりかけると、山手中華は#4 が連続してシュートを決めフリースローも 1 本決める。攻めのリズムを作り、その後#11、#12 も得点する。八千代#5 と#7 はオールコートでボールマンへプレッシャーかけターンオーバーを仕掛ける。残り 2 分、#7 スチールから#5 がシュートを決める。ラリーが続く中、残り 40 秒で八千代#4 が 4 回目のファウル。

山手中華は残り 10 秒で#4 が得点する。38 対 34 と山手中華が逆転し 3Q 終了。

### 4Q

山手中華は 3Q メンバー#8 に代わり#9 八千代は 3Q とメンバー同じで 4Q 開始。

開始からお互いのシュートが決まらない。開始 1 分 30 秒過ぎ、八千代#5 のスチールからのドリブルシュートが決まり試合が動き出す。続いて、#4 が得点し同点。流れに乗り#5 もドライブシュートを決め八千代がまたも逆転する。追いかける山手中華は#9 がファウル

をもらいフリースロー1本決める。攻め続ける八千代は#7と#4合わせプレーで得点し39対42で3点リード。だが、残り3分、八千代#13（センター）が負傷し#8と交代する。追い込みをかける山手中華だが、ゴール下シュートが決まらない。残り1分15秒、八千代#4がチャージングを取り、山手中華#9が5ファウルとなる。#8が入る。残り1分、八千代#5がドライブシュートを決める。追加点がほしい山手中華だが焦りからパスミス、ターンオーバーが続き得点に繋がらない。残り18秒、またも八千代#5がシュートを決め試合終了。

39対46 最後まで走りきり切った八千代の勝利となった。

協力／横浜市南部ミニバスケットボール連盟技術委員会

